



私が遠くを見ることができたのは巨人の肩に乗っていたからです アイザックニュートン

第2回サイエンスカフェ「先輩に学ぶ」

【講師】本校理数科44期生6名の学生（西進生2名・内進生4名）

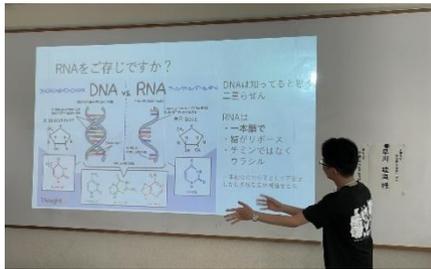
【日時】8月9日（金）午前9時00分から午後12時30分 【場所】視聴覚室・スチームラボ・第一物理室

【参加者】附属中学校3年生・高校1年生2年生 24名

講義の様子

早川睦海さん（京都大学医学部医学科）

現在、京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA（サイラ）で研究に励む早川さん。miRNA（マイクロRNA）



を使った細胞の制御の研究に励んでいるそうです。高校の時一番興味を持って取り組んだことは「数学オリンピック」だそうです。

田代康二さん（東京大学教養学部学際科学科）

前日、宮崎を襲った大地震を受けて、急遽ひなた GIS で作成した「ハザードマップ」を使って講義をしてくださいました。



後半は、黒板をいっぱいを使って数学「球のn次元」について講義をしてくださいました。

神力駿之介さん、（東京大学獣医学課程）

獣医師の仕事や獣医学科で学ぶことやそのカリキュラム、現在取り組んでいる無菌マウスを活用した研究の話をしてくださいました。



戸高空さん（京都大学工学部情報工学科）

情報工学科では、あらゆる問題を、数値の列で対応付けをして再現させることを研究しているそう。高校時代は、情報オリンピックに挑戦していました。大学に入ってから熱気球にはまっているそう。



吉田智皓さん（東京大学理学系研究科）

大学や大学院での研究の進め方について高校のきみろんでも役立つような話をしてくださいました。化学の研究内容はとても興味深いものでした。



鈴木大寛さん（京都大学大学院工学研究科）

学部だけでなく大学院（修士課程・博士課程）で学ぶことをや目指すことを中高生にもわかりやすく説明してくれました。



自分の現在取り組む研究を人々の生活にどう役立てたいのか夢を語ってくださいました。

前日発生した地震の影響で、宮崎入りする予定だった航空便が欠航するというトラブルもありましたが、何とか調整して後輩達のためにと集まってくださいました。この「縦のネットワーク」の強さは宮崎西高校の大きな強みです。「高校時代の幅のある時期はかけがえのない時期」周りに目を向けて勉強以外にもいろいろな事に取り組んで欲しい」というメッセージを残してくださいました。皆さんもぜひ先輩に続こう!!

